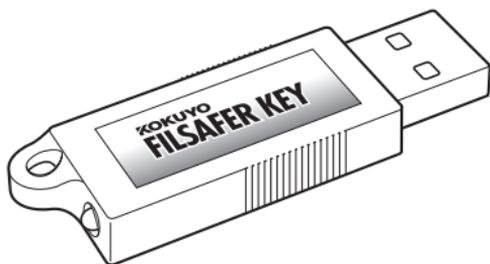
USB 認証キー

FILSAFER KEY

EAM-UK300

取扱説明書

本製品を正しくご使用いただくために、
ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください

はじめに

このたびは「FILSAFER KEY（フィルセイファーキー）」EAM-UK300をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。本製品をご使用になる前に必ず、本書に記載の「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みになり、内容をご確認、ご承諾のうえご使用ください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は基本OS日本語Windows98/98SE/Me/2000 Professional/XP Professional/XP Home Editionのいずれかがコンピュータにセットアップされていること、またそれらのコンピュータを使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。
  用語や操作などについての不明な点は、各OSのマニュアルや、ご使用のコンピュータのマニュアルなどをご覧ください。

- 本書の内容は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書はソフトウェア開発中に作成されるため、一部仕様と異なる箇所が存在することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはお断りいたします。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

本製品をお使いになる前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。
弊社では、お客様に対して、ソフトウェア使用許諾契約書を設けさせていただいております。
お客様がこの契約内容にご同意いただいた場合のみ、本製品の使用を許諾しております。

ソフトウェア使用許諾契約書

総則

コクヨ S&T 株式会社（以下「弊社」と言います。）は、お客様が弊社より購入した FILSAFER KEY EAM-UK300（以下「本製品」と言います。）を使用するために必要なソフトウェア製品である FILSAFER KEY EAM-UK300 ソフトウェアを使用する非独占的で譲渡不可能なライセンスをお客様に付与し、お客様は下記条項に合意するものとします。お客様が当該ソフトウェアをインストール、複製、その他の方法で使用した日をもって、お客様により本使用許諾契約書の内容に同意いただいたものとします。

第 1 条　用語定義

（1）ソフトウェアとは、本契約の各条項に基づいてお客様に提供される FILSAFER KEY EAM-UK300 ソフトウェアのプログラム本体と、オンラインヘルプマニュアル、および部品類の構成品からなるオリジナルコピーを言います。
（2）ソフトウェア複製物とは、コンピュータで読み取り可能な形で複製されたソフトウェアのすべて、または一部の複製物（付録の画像データ、フォントなど）を言います。
（3）ドキュメントとは、本製品に含まれるユーザーズマニュアル、その他の印刷物を指します。

第 2 条　ご使用条件

（1）ソフトウェアに関する知的財産権等すべての権利は十条電子株式会社または販売ライセンスを受けた弊社に帰属します。
（2）本契約書に同意したお客様が管理するコンピュータ（複数可）で使用する場合に限り、本ソフトウェアの使用を許可します。
（3）お客様は、ソフトウェアをバックアップまたはお客様が管理するコンピュータで使用する目的でソフトウェア複製物を作成できます。但し、お客様が作成した複製物の著作権は十条電子株式会社または販売ライセンスを受けた弊社に帰属するものとします。

（4）本ソフトウェアは本契約に同意したお客様が日本国内のみでご使用になれます。

第3条　禁止事項

（1）お客様は、前条に規定された使用条件以外にソフトウェア複製物を作成することはできません。
（2）お客様は、ソフトウェアやドキュメントの一部または全部に関して、その使用権を再設定、賃貸またはリース契約をすることはできません。
（3）お客様は、ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。
（4）お客様は、ソフトウェアやドキュメントの弊社、並びに十条電子株式会社の著作権表示及び商標を変更、削除、または不鮮明にしたり、見えない様にしたりすることはできません。
（5）お客様は、ソフトウェアやドキュメントを無断で複製、転写、記載、改変することはできません。
（6）お客様は、ソフトウェアやドキュメントを第三者と共同で使用、譲渡、または第三者が使用することを許諾してはなりません。
（7）お客様は、ソフトウェアやドキュメント、並びにソフトウェアやドキュメントと他の商品と抱き合わせた商品やシステムを、営利の目的で直接または間接的な方法で転売、出荷、転用もしくは輸出、再輸出してはなりません。

第4条　保証期間

弊社は、お客様による本製品の購入日から９０日間、ソフトウェアの瑕疵に起因してソフトウェアのインストールをおこなうことができないと弊社が認める場合、お客様が弊社にお支払した本製品およびソフトウェアの代金を返金するか、無償での新品との交換を、弊社の選択によりおこないます。なお、当該交換をおこなった製品が当該製品の瑕疵に起因してインストールをおこなうことができないと弊社が認める場合は、本製品の購入日から９０日間か、または当該新品交換日から３０日間のいずれか長い期間、本条を準用するものとします。

第5条　免責事項

弊社は、前条に定める事項を除き、通常の使用をおこなったか否かにかかわらず、いかなる場合も、本製品、ソフトウェアもしくはドキュメントの瑕疵、または本製品、ソフトウェアもしくはドキュメントの使用、あるいは使用できなかったことによりお客様に発生した利益や資産の喪失、情報やデータの喪失および破損、人命や環境にかかる損害、業務の中断その他の偶発的な損害を含む直接的、間接的な一切の損害について、お客様に対して一切の責任を負いません。また、弊社はお客様に対していかなる第三者からなされた損害賠償請求にも一切の責任を負いません。

第6条　契約期間

（1）本契約は、お客様がソフトウェアをインストール、複製、その他の方法で使用した日である本使用許諾契約書の内容に同意していただいた日に発効し、お客様がソフトウェアとソフトウェア複製物及びドキュメントすべての使用を止めるときまでを有効とします。

（2）お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は事前の通告なしに本契約を終了することができます。その場合、お客様は弊社にソフトウェアとソフトウェア複製物並びにドキュメントを返却するか、またはすべてを破棄したことを示す文書を送付しなければなりません。

第7条　その他

（1）本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所として解決するものとします。

（2）本契約の一部が法律に適合しなくなった場合は、その部分は本契約から除外します。但し、その他の部分は影響を受けないものとします。

安全上のご注意

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

⚠ 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンのメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

⃠ 他人に悪用される恐れがありますので、本製品を放置しないでください。

⃠ 本製品を水に濡らさないでください。
火災・感電の原因になります。浴室、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

❗ 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。ただちにパソコン本体の電源を切り、本製品をパソコン本体から抜き取ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。本製品を抜き取るときには、タオルやハンカチ等で手を防護してください。

⚠注意

本製品を改造したり分解しないでください。
火災・感電・動作不良の原因となります。差し込まれたパソコン本体に障害を与える可能性があります。

本製品を以下のような場所で保管・使用しないでください。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ無線機等）
- 水気の多い場所（台所、浴室等）
- 傾いた場所
- 腐食性ガスを含んだ大気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_x 等）
- 静電気の影響の強い場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品の近くで飲食・喫煙などをしない

使用上のご注意

- 本製品は、Windows95、WindowsNT、MS-DOS、Macintosh、Linuxなどの基本OSには対応しておりません。
- ご使用のOSがWindows98（98 SEを除く）の場合、キー生成ウィザードが起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM内の「50comupd.exe」をダブルクリックして実行し、「Comctl32.DLL」のアップデートを行ってください。
- 他の暗号化セキュリティソフトウェア、およびコピー防止プロテクトソフトウェアがパソコンにインストールされている場合は、必ずそれらのドライバをアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。
- 起動しているソフトウェアはすべて終了してからインストール･アンインストールを行ってください。ウィルス駆除ソフト、常駐しているソフトウェアも終了させてからインストール・アンインストールを行ってください。
- 上書きインストールは行わないでください。再インストールされる場合は、常駐を含むすべてのアプリケーションを終了させ、アンインストールを実行し、パソコンを再起動させてから行ってください。
- WindowsXP/2000をご使用の場合は、ユーザ名を「Administrator（コンピュータの管理者）」もしくはこれと同等の権限を持つユーザ名にしてログオンしてからインストールを行ってください。
- Windows自動ログオン機能をONに設定すると、WindowsXPのユーザ簡易切替機能は使用できなくなります。
- キーの抜き差しは、5秒以上間隔をおいて行ってください。
- EAM-UK300の誤操作や製品の不具合により、ご使用のパソコンに不具合が発生した場合の損害賠償等には応じられません。詳しくは、EAM-UK300の使用許諾契約書の免責事項をご確認ください。
- キーを紛失すると、設定によってはパソコンのロックが解除できなくなりますので、キーの紛失には十分ご注意ください。

  紛失時に備えて、必ずキー情報のバックアップを行ってください。また、あらかじめスペアキーを作成されることをおすすめいたします。

同梱品の確認

ご使用の前に以下のものが揃っていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社お客様相談室までお知らせください。

- FILSAFER KEY EAM-UK300 本体　× 1 個
- 取扱説明書（本書）　× 1 冊
- 保証書　× 1 枚
- CD-ROM　× 1 枚

商品の特長

EAM-UK300 の主な機能は以下のとおりです。

■一時的に離席するときなどに「スクリーンセーバロック」

USB ポートからキーを抜き取ると、画面がスクリーンセーバに変わります。
スクリーンセーバロック中は、マウスやキーボード等の操作を無効にします。

少しパソコンから離れたいが作業中のアプリケーションを終了させたくないとき、キーを抜くだけでスクリーンセーバが起動し、画面を見られる心配がありません。

■ログオン時のセキュリティ「Windows 自動ログオン」

USBポートにキーを差し込むと、ユーザ名やパスワードの入力をせずに自動的にWindows にログオンできます。

また、キーを差し込まないとログオンできないように設定してセキュリティを向上させることができます。

■他のユーザとの切替に「Windows 自動ログオフ」

USB ポートからキーを抜き取ると、自動的に Windows からログオフします。

1台のパソコンで複数のアカウントを登録している場合に他のユーザと交代したいとき、キーを抜くだけですばやくログオフできます。

本書の使い方

本書では以下のようなアイコンで補足情報を記載しています。

参照

参照先のページを記載しています。

メモ

知っておくと便利な情報などを記載しています。

注意

操作上の注意事項などを記載しています。

注意

- 本書の内容、および画面は日本語 Windows XP（Service Pack 1）を例に説明しています。ご使用のパソコンの設定によっては画面のサイズやデザイン及び表示されるメッセージが異なる場合があります。

目次

1.「EAM-UK300」のインストール

「EAM-UK300」のインストール方法およびアンインストール方法について説明しています。

動作環境

「EAM-UK300」のご使用にあたっては、下記の条件を満たす必要があります。

対応 OS	日本語Windows98/98SE/Me/2000 Professional/XP Professional/XP Home Edition が正しく動作するパーソナルコンピュータ
対応 PC	PC/AT 互換機（DOS/V）
CPU	Pentium Ⅱ以上
メモリ	32MB 以上
ハードディスク占有容量	100MB 以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ
ディスプレイ	解像度 640×480(VGA)／16bit以上を表示するカラーモニタ
インターフェース	USB1.1 準拠

注意

- Windows95/NT には対応していません。
- NEC PC-9821 シリーズはサポートいたしません。
- USB ハブを経由した動作は保障しかねます。
- 古いバージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから行ってください。
- 他の暗号化セキュリティソフトウェア、およびコピー防止プロテクトソフトウェアがパソコンにインストールされている場合は、必ずそれらのドライバをアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。
- 起動しているソフトウェアはすべて終了してからインストールを行ってください。ウィルス駆除ソフトなど、常駐しているソフトウェアもインストール時にはすべて終了させてください。

インストール

⚠ 注意

- **「EAM-UK300」キー本体は、まだ接続しないでください。**
  「EAM-UK300」のインストール終了後、[キー生成ウィザード] で、キー本体を差し込む画面が表示されたときに接続してください。
- 他の暗号化セキュリティソフトウェア、およびコピー防止プロテクトソフトウェアがパソコンにインストールされている場合は、必ずそれらのドライバをアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。

1. 同梱の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。自動的にインストールメニューが起動します。

⚠ 注意

インストールプログラムが自動的に実行されない場合は、CD-ROM 内の [japanese] フォルダ - [setup] フォルダの中にある [setup.exe] をダブルクリックしてください。

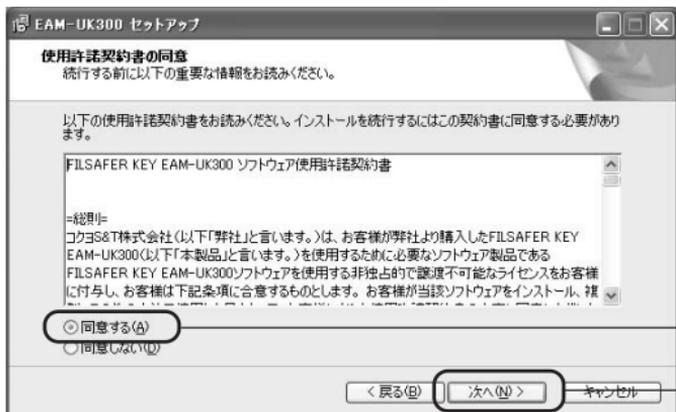
2. インストールメニューの[EAM-UK300のインストール]をクリックします。

しばらくするとインストールウィザードが起動します。

⚠ 注意

インストールウィザードが起動する前に、何度も [EAM-UK300 のインストール] をクリックすると、インストールウィザードが複数起動し、正常にインストールできなくなることがあります。

3. [次へ] ボタンをクリックします。

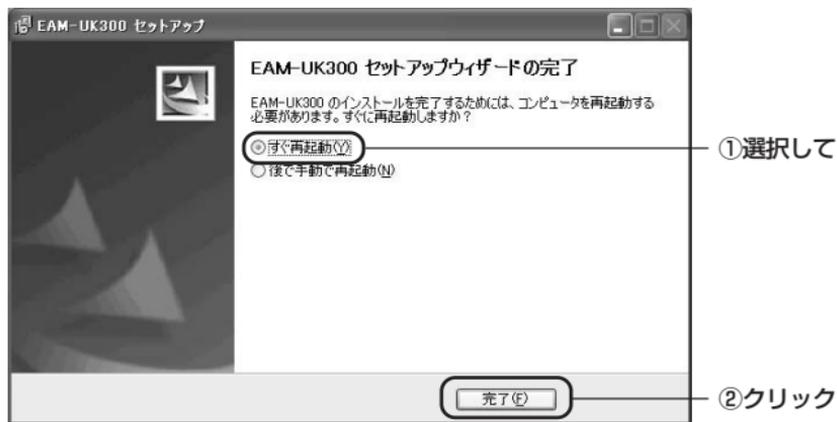
4. 使用許諾契約を確認し、同意されましたら [同意する] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

5. [次へ] ボタンをクリックします。

インストール先を変更したい場合は、[参照] ボタンをクリックして変更します。変更してから [次へ] ボタンをクリックしてください。

6. [インストール] ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

7. ［すぐ再起動］を選択して、［完了］ボタンをクリックします。

注意

再起動しないと、システムが正常に動作しないなど故障の原因になる恐れがあります。

メモ

再起動後、「EAM-UK300」キーを利用するには、キーの生成を行う必要があります。

参照 ⇒ P.18 「「EAM-UK300」キーを生成する」

「EAM-UK300」のアンインストール

注意

- アンインストールには、インストール時に生成したキーが必要です。
- インストール時に生成したキーを準備できない場合は、キー生成時に作成したバックアップファイルからキーを復元してください。

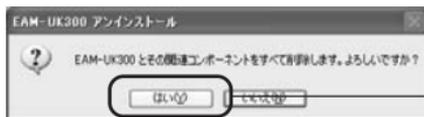
参照 ⇒ P.47 「キーの復元」

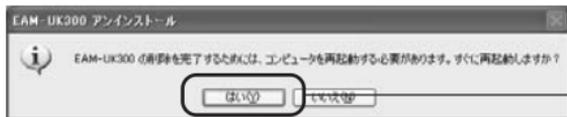
- アンインストールする前に、常駐を含むすべてのアプリケーションを終了させてください。また、念のため、「EAM-UK300」の設定をすべてOFFにしてください。

参照 ⇒ P.34 「スクリーンセーバロックを OFF にする」
⇒ P.41 「自動ログオン設定を OFF にする」
⇒ P.43 「自動ログオフ設定を OFF にする」

1. 「EAM-UK300」キーを USB ポートに差し込みます。

2. [スタート] メニューから [すべてのプログラム (P)] − [FILSAFER KEY] − [EAM-UK300 をアンインストールする] を選択します。

3. 確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

4. 「EAM-UK300」キーをUSB ポートから抜き取った後、[はい] をクリックし、パソコンを再起動します。

注意

- 再起動しないと、システムが正常に動作しないなどの故障の原因になる恐れがあります。
- アンインストール完了後は、再起動する前に必ず「EAM-UK300」キーをUSB ポートから抜き取ってください。

メモ

上記手順以外に、[スタート] メニュー − [コントロールパネル] − [プログラムの追加と削除] (Windows98/Me/2000は [アプリケーションの追加と削除]) からアンインストールすることもできます。

2.「EAM-UK300」キーを生成する

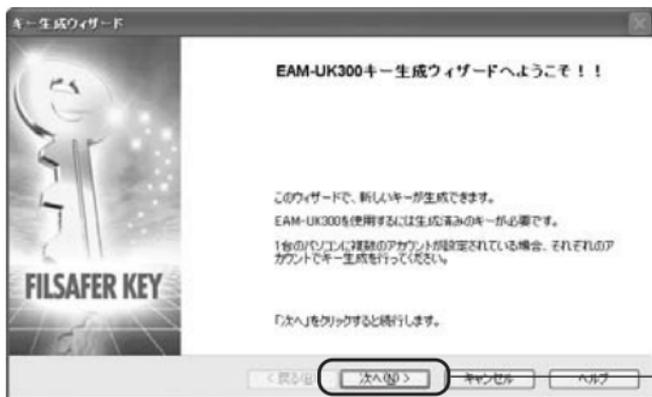
「EAM-UK300」が機能するためには、ユーザ名とパスワードの設定が必要です。この一連の設定過程を「キーの生成」と呼びます。
パソコンを再起動すると、自動的にキー生成ウィザード画面が起動します。

注意

ご使用のOSがWindows98（98 SEを除く）の場合、キー生成ウィザードが起動しないことがあります。
その場合はCD-ROM内の「50comupd.exe」をダブルクリックして実行し、「Comctl32.DLL」のアップデートを行ってください。

メモ

- 「EAM-UK300」キーの生成ウィザードが自動的に起動しない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]－[FILSAFER KEY]－[EAM-UK300]を選択してください。
- キーを生成したことのないユーザアカウントで[スタート]メニューから[すべてのプログラム]－[FILSAFER KEY]－[EAM-UK300]を選択した場合も同様に「EAM-UK300」キーの生成ウィザードが起動します。

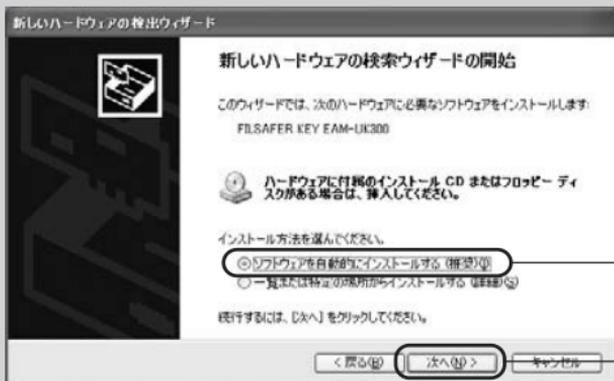
1. [次へ]ボタンをクリックします。

2. 生成するキーを USB ポートに接続します。

キーの選択欄に現在 USB ポートに接続されているキーが表示されます。

⚠ 注意

ご使用の OS が Windows98(98 SE を除く)の場合、生成するキーを USB ポートに接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されることがあります。その場合は、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択して[次へ]ボタンをクリックします。次の画面で「検索場所の指定」にチェックし[参照]ボタンをクリックして「Q:¥EAM-UK300driver¥9X(Q は CD-ROM ドライバ名)」を指定してください。

⚠ 注意

- 「EAM-UK300」キーをパソコンに接続したときに、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されることがあります。

「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択して [次へ] ボタンをクリックしてください。
また、WindowsXP Service Pack 2 では、最初に Windows Update への接続を問い合わせる画面が表示されることがあります。

[いいえ、今回は接続しません] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

- 「EAM-UK300」キーを接続しても、[キーの選択] リストボックスにキーの情報が表示されない場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] − [システム] を選択し、デバイスマネージャを表示します。デバイスマネージャから「!」や「×」、「不明なデバイス」を削除し、「EAM-UK300」キーを抜いた後、上記手順に従って、再度キーを生成してください。

3. キー（①）を選択し、[次へ] ボタン（②）をクリックします。

4. 「ユーザ名」と「パスワード」欄および「パスワードの確認」欄（①）を入力し、［次へ］ボタン（②）をクリックします。

メモ

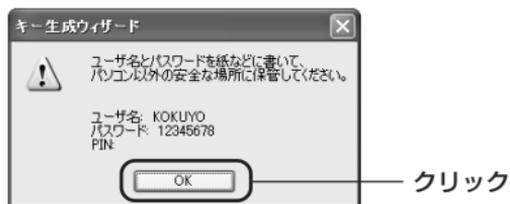
- 「ユーザ名」の欄は、キー生成時にWindowsにログオンしていたユーザアカウントが自動的に表示されます。変更したい場合は、ユーザ名の欄を一度削除し、32 文字までの半角英数字と半角記号、または 16 文字までの全角文字で入力し直してください。
- パスワードには、4 文字以上 32 文字以下の半角英数字かキーボードから直接入力可能な半角記号の組み合わせで入力してください。
- PIN 保護機能については以下のページを参照してください。

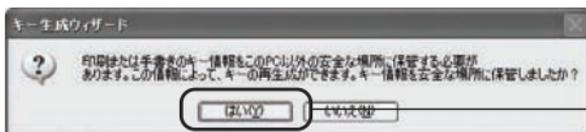
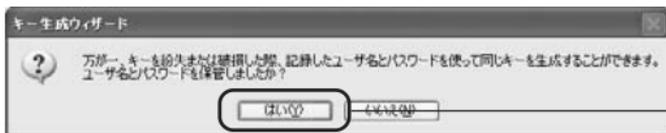
参照 ⇒ P.50 「PIN 保護を有効にする」

注意

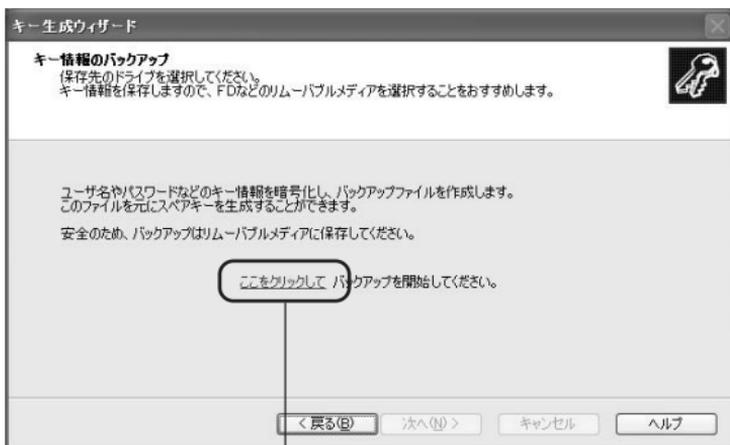
「パスワード」と「パスワードの確認」の入力内容が一致するまで、［次へ］ボタンをクリックすることはできません。

5. パスワードの内容を控えるため、[印刷] か [手書き]（①）を選択し、[次へ] ボタン（②）をクリックします。

- 印刷の場合、プリンタを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 手書きの場合、以下のウィンドウが表示されますので、ユーザ名とパスワードをメモ用紙などに書いてから [OK] ボタンをクリックします。

6. 確認画面が表示されますので［はい］ボタンをクリックします。

- 「印刷」を選択した場合

- 「手書き」を選択した場合

注意

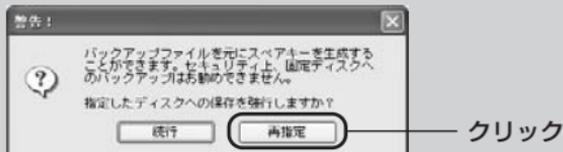
同じユーザ名とパスワードから生成されたキーは合鍵として使用できますので、ユーザ名とパスワードの取り扱いには注意してください。

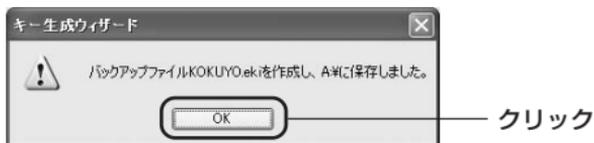
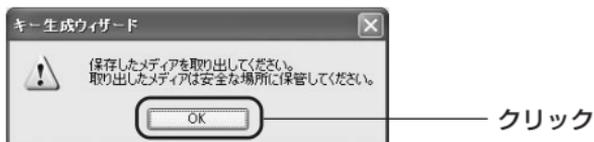
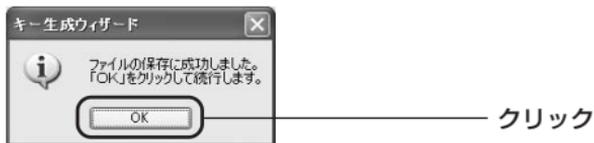
7. キー情報のバックアップ画面が表示されますので、［ここをクリックして］をクリックします。

8. キー情報バックアップファイルの保存場所（①）とファイル名（②）を指定し、［保存］ボタン（③）をクリックします。

メモ

バックアップファイルをパソコンのハードディスク内に保存することは、セキュリティ上、おすすめできません。フロッピーディスクなど外部メディアに保存し、厳重に保管することをおすすめします。

注意

保存場所にお使いのパソコンのハードディスクを指定した場合、以下の警告画面が表示されます。［再指定］ボタンをクリックして、保存場所を変更してください。

［続行］ボタンをクリックした場合は、以下の画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、ハードディスクに保存することができますが、早めに外部メディアにコピーまたは移動してください。

9. [OK] ボタンをクリックします。

10. 外部メディアを取り出し、[OK] ボタンをクリックします。

11. [OK] ボタンをクリックします。

12. キー情報のバックアップ画面に戻りますので、[次へ] ボタンをクリックします。

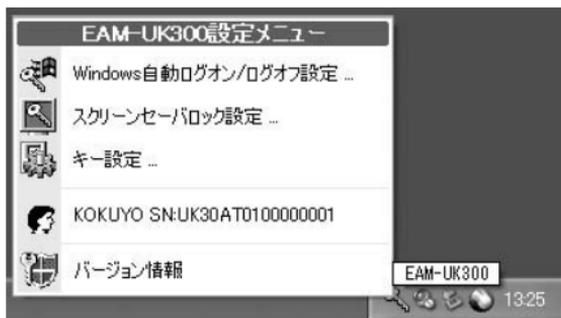
13. [完了] ボタンをクリックします。

14. インストールメニューに戻りますので、[閉じる] をクリックします。

注意

- キーを紛失すると、設定によってはパソコンのロックが解除できなくなりますので、キーの紛失には十分ご注意ください。
  紛失時に備えて、必ずキー情報のバックアップを行ってください。また、あらかじめスペアキーを作成されることをおすすめいたします。
  参照 ⇒P.47 「キーの復元」
- 「EAM-UK300」をアンインストールするときには、インストール時に作成したキーが必要です。キーの保管にはご注意ください。
  参照 ⇒P.16 「「EAM-UK300」のアンインストール」
- 普段使用していないUSBポートに初めて「EAM-UK300」キーを差し込んだ場合、ドライバのインストールが開始される場合があります。その場合、画面の指示に従って、インストールを完了させてください。これはWindowsの仕様であり、「EAM-UK300」キーの不具合ではございません。
- ここで生成したキーは古いソフトウェア（Ver.1.0）がインストールされたパソコンでも利用可能ですが、その場合はPIN保護を無効にしてご利用ください。
  参照 ⇒P.52 「メモ：PIN 保護を無効にする」

3. 設定メニューの表示

「EAM-UK300」の機能を設定できます。
設定メニューはタスクトレイの「EAM-UK300」アイコン を右クリック、またはダブルクリックすると表示されます。

メモ

- [バージョン情報] の上の欄には、現在差し込まれているキーのユーザ名とシリアルナンバーが表示されています。
- [バージョン情報] をクリックすると、「EAM-UK300」設定メニューのバージョンを確認することができます。

アイコンは状態によって以下のように表示されています。

生成された有効なキーが USB ポートに差し込まれているとき

生成された有効なキーが USB ポートに差し込まれていないとき

注意

- 「EAM-UK300」の機能を設定するときは、必ず現在のユーザの有効なキーを差し込んでください。

4. スクリーンセーバロックの設定

スクリーンセーバロックの設定をONにして、キーを抜くと、スクリーンセーバが起動して、キーボードおよびマウスの操作を無効にします。
キーを差し込むとスクリーンセーバロックが解除され、作業中の画面に戻ります。

メモ
キー生成直後は、スクリーンセーバロックの設定は ON に設定されています。

スクリーンセーバロック設定画面の表示

スクリーンセーバロック設定画面は、設定メニューから［スクリーンセーバロック設定］を選択すると表示されます。

参照 ⇒ P.28「3. 設定メニューの表示」

メモ
スクリーンセーバロック設定画面は［コントロールパネル］－［スクリーンセーバロック］を選択しても表示されます。

スクリーンセーバロックを ON にする

1. スクリーンセーバロック設定画面で[スクリーンセーバロック ON]（①）を選択し、［適用］ボタン（②）をクリックします。

スクリーンセーバロックは、「フラッシュスクリーンセーバ」と「JPEGスライドショー」の２種類から選択できます。
スクリーンセーバロックの内容を変更するときは、以下のページを参考にしてください。

参照 ⇒ P.31「フラッシュスクリーンセーバの設定」
参照 ⇒ P.32「JPEG スライドショーの設定」

注意

- スクリーンセーバロック中にパソコンがサスペンドモードに入った場合、キーを差し込んでもすぐにスクリーンセーバロックは解除されません。パソコンがサスペンドモードから復帰するまでお待ちください。
- スクリーンセーバロック中は、キーボードとマウスの操作も無効ですので、ALT+TAB や CTRL+ALT+DEL などのタスク切替はできません。

フラッシュスクリーンセーバの設定

1. スクリーンセーバロック設定画面で[フラッシュスクリーンセーバ]（①）を選択し、［設定］ボタン（②）をクリックします。

2. 表示させるフラッシュファイルを選択します。

メモ

フラッシュファイルは以下の６種類から選択できます。

- key.swf …………………… 錠前のイラストを背景にメッセージが流れます。
- logo.swf ………………… 画面中央にロゴが表示されます。
- logotype.swf ………… 黒地の背景にロゴが左右に流れます。
- logotypeW.swf ……… 白地の背景にロゴが左右に流れます。
- nonbiri.swf …………… パソコンのイラストと現在時刻が表示されます。
- police.swf ……………… コミカルな警官のイラストが動きます。

3. ［適用］ボタンをクリックします。

スクリーンセーバロックの設定画面に戻ります。

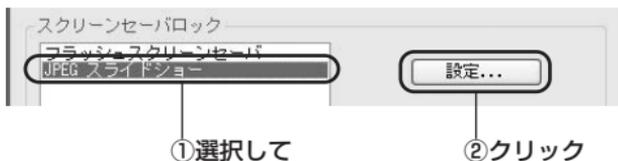
4. ［適用］ボタンをクリックします。

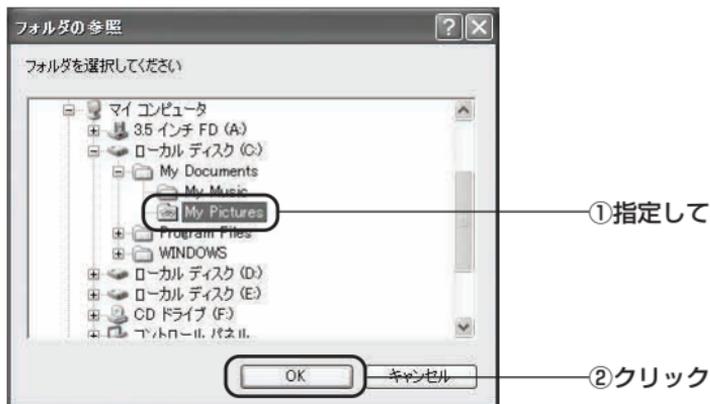
JPEG スライドショーの設定

お好きな写真やイラストをスライドショー形式のスクリーンセーバとして使用できます。

⚠ 注意

使用できる写真やイラストは JPEG 形式のファイルに限ります。

1. スクリーンセーバロック設定画面で［JPEGスライドショー］（①）を選択し、［設定］ボタン（②）をクリックします。

2. ［参照］ボタンをクリックします。

3. スライドショーに使うファイルがあるフォルダ（①）を指定し、［OK］ボタン（②）をクリックします。

スライドショーに使うファイルがあるフォルダを直接入力して指定することもできます。

4. 画像切り替え間隔（①）と画像のサイズ（②）を設定し、［適用］ボタン（③）をクリックします。

スクリーンセーバロックの設定画面に戻ります。

5. ［適用］ボタンをクリックします。

スクリーンセーバロックを OFF にする

1. スクリーンセーバロック設定画面で［スクリーンセーバロック OFF］（①）を選択し、［適用］ボタン（②）をクリックします。

スクリーンセーバロックの設定

プレビュー

スクリーンセーバロック

フラッシュスクリーンセーバ
JPEG スライドショー

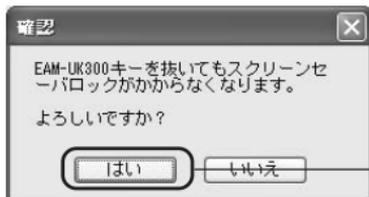
設定...

○スクリーンセーバロック ON
◉スクリーンセーバロック OFF

適用　キャンセル　ヘルプ

①選択して

②クリック

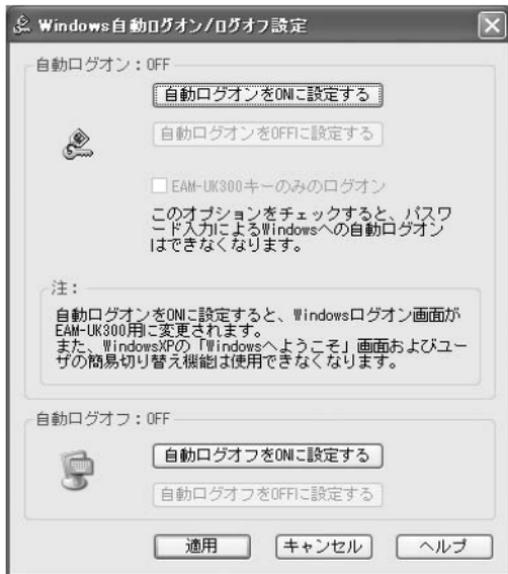
2. 確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

5. Windows 自動ログオン／ログオフの設定

キー生成直後は、Windows 自動ログオンおよび Windows 自動ログオフの設定は OFF に設定されています。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面の表示

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面は、設定メニューから［Windows 自動ログオン／ログオフ設定］を選択すると表示されます。

参照 ⇒ P.28「3. 設定メニューの表示」

Windows 自動ログオン／ログオフの設定画面は、［コントロールパネル］－［Windows 自動ログオン／ログオフ］を選択しても表示されます。

自動ログオン設定を ON にする

Windows 自動ログオン設定を ON にすると、キーをパソコンに差し込むだけでWindowsにログオンできます。パスワードを入力する手間を省き、パスワードが盗み見られる危険を回避できます。

⚠ 注意

- 自動ログオンをONに設定すると、Windowsにログオンする画面が「EAM-UK300」独自の画面に変わります。また、WindowsXPのユーザ簡易切替機能は使用できなくなります。
- 自動ログオンを設定したいアカウントで現在ログオンしていることを確認してから、設定してください。また、管理者のアカウントで自動ログオン設定をONにしてからでないと、その他のユーザアカウント環境では自動ログオン設定は行えません。
- 設定が終了するとパソコンを再起動しますので、すべてのアプリケーションを終了させておいてください。

1. Windows自動ログオン／ログオフ設定画面で［自動ログオンをONに設定する］または［自動ログオンの再設定］をクリックします。

Windows 自動ログオン設定ウィザードが起動します。

2. ［次へ］ボタンをクリックします。

3. 自動ログオンを設定するユーザ名（①）を選択して、［次へ］ボタン（②）をクリックします。

4. 「パスワード」欄と「パスワードの確認」欄（①）に、**Windowsにログオンするパスワードを入力**して、[次へ]ボタン（②）をクリックします。

⚠ 注意

- **ここでは、「EAM-UK300」キー生成用に設定したパスワードではなく、Windowsに設定されているログオンパスワードを入力してください。** Windows ログオンパスワードを設定していないときは、空欄のまま［次へ］ボタンをクリックしてください。
- Windows に設定されているログオン時の「パスワード」と「パスワードの確認」の入力内容が一致するまで、[次へ] ボタンをクリックすることはできません。
- Windows のログオンパスワードを変更されたときは、「EAM-UK300」キーの自動ログオンの設定も再設定してください。再設定を行わないとWindows にログオンできなくなるおそれがあります。
- セーフモード時は「EAM-UK300」のデバイスドライバが読み込まれないため、Windows のログオンパスワードを設定していない場合、キーがなくても Windows へのログオンが可能です。
  セキュリティの面からWindowsのログオンパスワードを設定することをおすすめします。

5. 再起動を促すメッセージが表示されますので、「はい、今すぐ再起動します。」を選択して、[完了]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

6. 以降ログオン時には下記のような画面が表示され、「EAM-UK300」キーをUSBポートに差し込むとWindowsに自動ログオンします。

⚠ 注意

キーを差し込んでいない状態でも [ESC] キーを押すと、通常どおりユーザ名とパスワードを入力してログオンすることができますが、以下の点にご注意ください。

- LANサーバへのログオンもキャンセルされ、ネットワークに繋がらなくなることがあります。
- OutlookExpressでの送受信を行うとき、メールアカウントのパスワード入力を求められることがあります。その場合はご自身のメールアカウントのパスワードを入力してください。

メモ

キーをパソコンに差し込む方法以外ではログオンできないように設定にするには、「キーのみログオンの設定」を参照してください。

参照 ⇒ **P.39「キーのみログオン設定を ON にする」**

キーのみログオン設定を ON にする

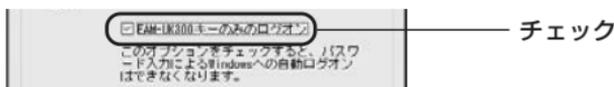
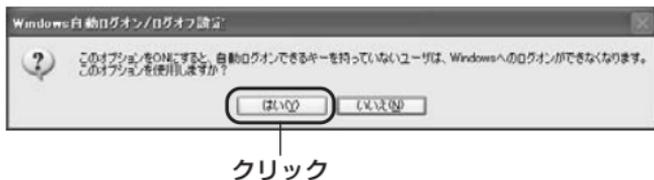
キーをパソコンに差し込む方法以外ではログオンできないように設定します。

注意

- 自動ログオンの設定が済んでいない場合は、チェックボックスがグレーになっていますので設定できません。あらかじめ自動ログオンの設定をONに設定してください。

参照 ⇒ P.36 「自動ログオン設定を ON にする」

- この設定を行うと、[ESC] キーを押してもパスワード入力画面は表示されません。キーの紛失には十分に注意してください。

1. Windows自動ログオン／ログオフ設定画面で [EAM-UK300キーのみのログオン] のチェックボックスをチェックします。

2. 確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面に戻ります。

3. [適用] ボタンをクリックします。

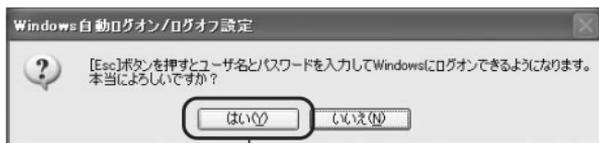
4. 再度確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

5. 以降ログオン時には下記のような画面が表示され、「EAM-UK300」キーをUSBにポートに差し込むとWindowsに自動ログオンします。

キーのみログオン設定をOFFにする

キーを差し込んでいない状態でも［ESC］キーを押すと、通常どおりユーザ名とパスワードを入力してログオンできる状態に戻します。

1. Windows自動ログオン／ログオフ設定画面で［EAM-UK300キーのみのログオン］チェックボックスのチェックを外します。

2. 確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面に戻ります。

3. ［適用］ボタンをクリックします。

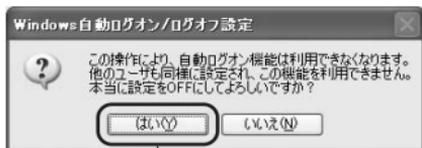
自動ログオン設定を OFF にする

自動ログオン設定を解除し、通常の Windows ログオン画面に戻します。

⚠ 注意

- 設定が終了するとパソコンを再起動しますので、すべてのアプリケーションを終了させておいてください。

1. Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面で［自動ログオンを OFF に設定する］をクリックします。

2. 確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面に戻ります。

3. ［適用］ボタンをクリックします。

4. 再起動を促すメッセージが表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

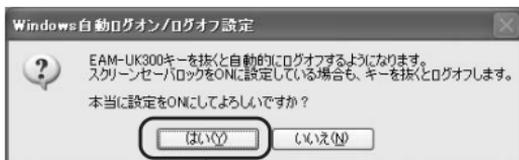
自動ログオフ設定を ON にする

キーを抜くだけで、Windows からログオフできるように設定します。

注意

- 自動ログオフの設定がONになっているとき、キーを差し込んでいない状態で、ログオンしても自動的にログオフします。
- 自動ログオフ機能とスクリーンセーバロック機能は併用できません。両方設定していた場合、自動ログオフ機能が優先され、スクリーンセーバは表示されません。

1. Windows自動ログオン／ログオフ設定画面で［自動ログオフをONに設定する］または［自動ログオフの再設定］をクリックします。

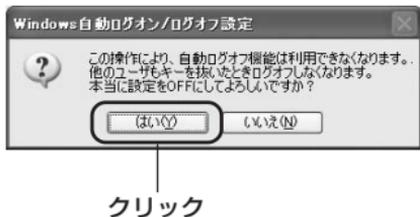
2. 確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面に戻ります。

3. ［適用］ボタンをクリックします。

自動ログオフ設定を OFF にする

キーを抜くだけで、Windows からログオフできる設定を解除します。

1. Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面で［自動ログオフを OFF に設定する］をクリックします。

2. 確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

Windows 自動ログオン／ログオフ設定画面に戻ります。

3. ［適用］ボタンをクリックします。

6. キー設定

キー設定画面は、設定メニューから［キー設定］を選択すると表示されます。

参照 ⇒ P.28「3. 設定メニューの表示」

キー設定画面の下にユーザ名が表示されていないときは、キーアイコンの左にある ＋ をクリックしてください。

「EAM-UK300」キーの生成／再生成

新たにキーを生成したり生成済みのキーを生成しなおしたりすることができます。

1. キー設定画面の［キーの生成］ボタンをクリックします。

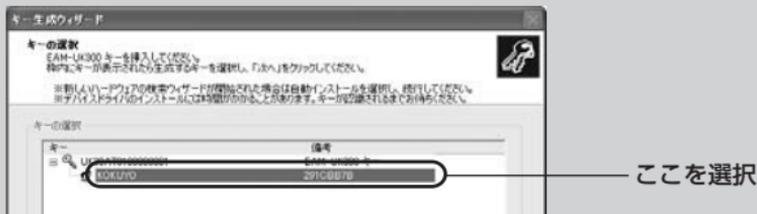
2. キー生成ウィザードが表示されます。

この後の手順は、以下のページを参照してください。

参照 ⇒ P.18 「2.「EAM-UK300」キーを生成する」

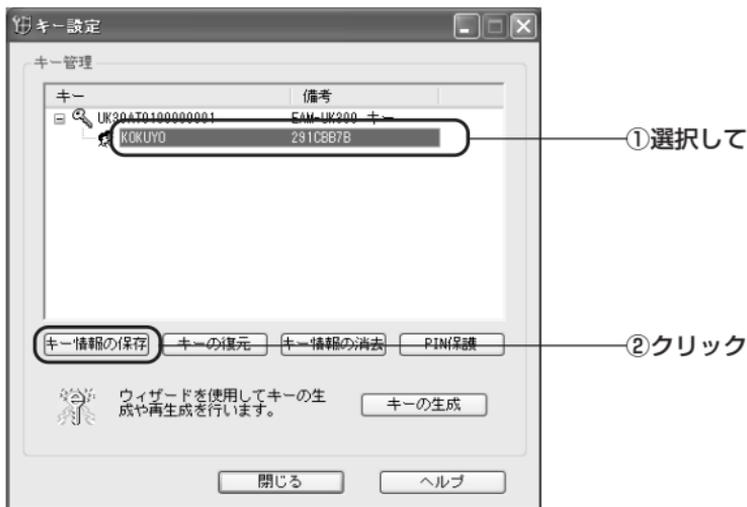
6 キー設定

注意

- 再生成の場合、キーを選択する場所が異なりますので、ご注意ください。

- 新たにキーを生成すると、今後はそのキーを差し込まないとスクリーンセーバロックや Windows 自動ログオン／ログオフの設定が行えなくなります。今までのキーで設定を行えるようにしたい場合は、今までのキーを差し込んで再度キーの生成を行ってください。

キー情報の保存

生成したキーのバックアップファイルを保存することができます。

1. キー設定画面のユーザ名（①）を選択し、[キー情報の保存] ボタン（②）をクリックします。

2. 「パスワード」（①）を入力し、[OK] ボタン（②）をクリックします。

3. 保存する場所（①）とファイル名（②）を指定し、[保存] ボタン（③）をクリックします。

メモ

バックアップファイルをパソコンのハードディスク内に保存することは、セキュリティ上、おすすめできません。フロッピーディスクなど外部メディアに保存し、厳重に保管することをおすすめします。

キーの復元

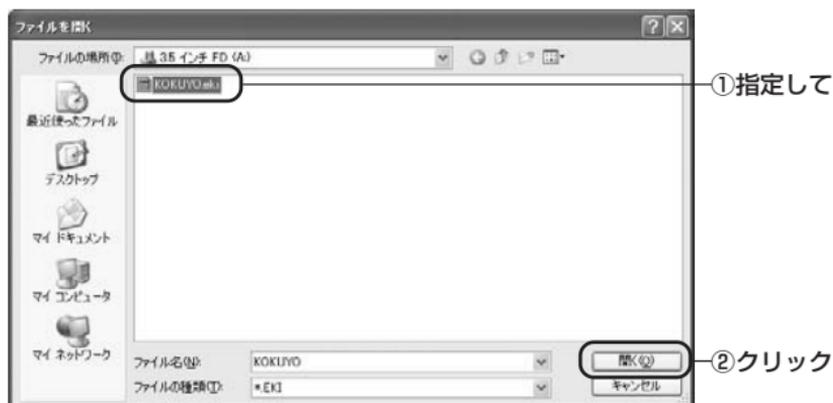
合鍵を作製したり、キーに設定された情報を書き換えることができます。

⚠ 注意

ご使用のパソコンにUSBポートが1つしかない場合は、キーの復元を行う前に、スクリーンセーバロックおよび自動ログオフ設定をOFFにしてください。

参照 ⇒ P.34 「スクリーンセーバロックを OFF にする」
参照 ⇒ P.43 「自動ログオフ設定を OFF にする」

1. キー設定画面のキー（①）を選択し、[キーの復元] ボタン（②）をクリックします。

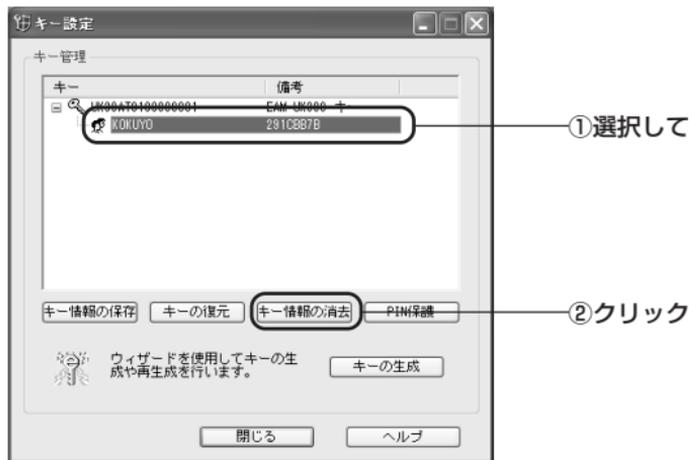
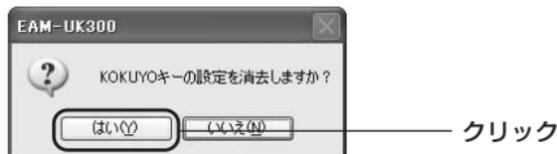
2. 復元に使うバックアップファイル(①)を指定し、[開く]ボタン(②)をクリックします。

選択したキーに情報が復元され、キー設定画面に復元したユーザ名が表示されます。

注意

キーの復元を行うと、PIN保護入力画面が表示されることがあります。その場合は、バックアップファイル保存時に設定したPINコードを入力してください。

キー情報の消去

キーに設定した情報を消去し、キーを初期化することができます。

1. キー設定画面のユーザ名（①）を選択し、[キー情報の消去] ボタン（②）をクリックします。

2. 確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

選択したキーの情報が消去されます。

PIN 保護を有効にする

「EAM-UK300」には、万一のときに備えて、PIN 保護機能が用意されています。PIN 保護を有効にしておくと、「EAM-UK300」キーをパソコンに差し込むたびに、PIN 認証が必要となるため、セキュリティを向上させることができます。

メモ

- 「EAM-UK300」キーを安全にお使いいただくためにも、PIN 保護を有効にしておくことをおすすめします。
- 「PIN（=Personal Identification Number）」とは、利用者しか知らない番号（= 暗証番号）のことです。

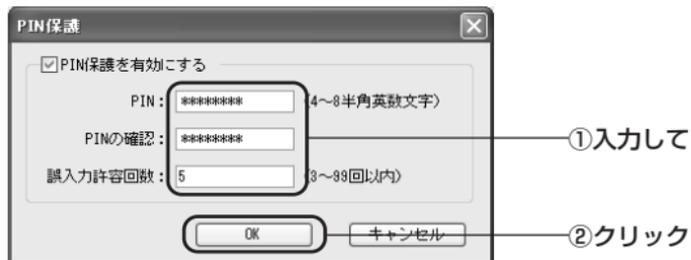
注意

古いソフトウェア（Ver.1.0）がインストールされたパソコンにキーを利用する場合は、PIN 保護を有効にしないでください。

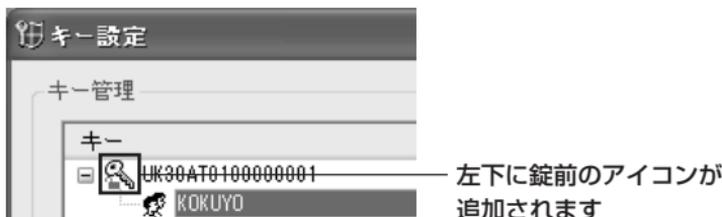
1. キー設定画面のユーザ名（①）を選択し、[PIN保護] ボタンをクリックします。

［PIN 保護］画面が表示されます。

2. [PIN 保護を有効にする] チェックボックスをチェックします。

3. [PIN] および [誤入力許容回数] テキストボックスにそれぞれ入力し、[OK] ボタンをクリックします。

それぞれの項目の入力内容については、次の表を参考にしてください。

データ項目	入力内容
PIN	PIN コード番号を入力します。4 文字以上 8 文字以下の半角英数字を入力してください。
誤入力許容回数	PIN コード入力を求められたときに、何回まで誤入力を認めるかを 3 ～ 99 回の範囲で指定します。

キー設定画面に戻ります。PIN保護を有効にしたユーザのキーアイコンの左下に錠前のアイコンが追加されます。

PIN 保護を有効にしておくと、「EAM-UK300」キーをパソコンに差し込むたびに、以下の画面が表示されます。

注意

正しいPINコードを誤入力許容回数以内に入力できないと、「EAM-UK300」キーが強制的に初期化されて使用できなくなります。そのような場合は、キーを再生成するか、バックアップファイルから、キーのキー情報を復元してください。

参照 ⇒ P.44 「EAM-UK300」キーの生成／再生成」
参照 ⇒ P.47 「キーの復元」

メモ

PIN 保護を無効にする

PIN 保護を無効にする場合は、[PIN 保護]画面の、[PIN 保護を有効にする]チェックボックスを外してください。

7. 付録

機能相関図

●設定変更後（設定 ON：○、設定 OFF：×）

設定 スクリーンセーバロック	設定 自動ログオン	設定 自動ログオフ	動作 キーを抜くと…	動作 キーを差し込むと…
○	○	○	自動的にログオフし、「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
○	×	×	スクリーンセーバが起動する	スクリーンセーバが解除され、作業中の画面に戻る
○	○	×	スクリーンセーバが起動する	スクリーンセーバが解除され、作業中の画面に戻る
×	○	×	－	－
×	○	○	自動的にログオフし、「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
×	×	○	自動的にログオフし、通常のWindowsログオン画面が表示される	－
○	×	○	自動的にログオフし、通常のWindowsログオン画面が表示される	－
×	×	×	－	－

●パソコン起動時（設定 ON：○、設定 OFF：×）

設定 スクリーンセーバロック	設定 自動ログオン	設定 自動ログオフ	動作 キーが抜けている…	動作 キーを差し込むと…
○	○	○	「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
○	×	×	Windowsにログオン後、スクリーンセーバが起動する	スクリーンセーバが解除され、作業中の画面に戻る
○	○	×	「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
×	○	×	「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
×	○	○	「EAM-UK300」版Windowsログオン画面が表示される	自動的にログオンし、デスクトップ画面が表示される
×	×	○	Windowsにログオン後、すぐに自動的にログオフする	－
○	×	○	Windowsにログオン後、すぐに自動的にログオフする	－
×	×	×	通常のWindowsログオン画面が表示される	－

こんなときには

状　況	対　応
「EAM-UK300」が正しくインストールできない。	他の暗号化セキュリティソフトウェア、およびコピー防止プロテクトソフトウェアがパソコンにインストールされている場合は、必ずそれらのドライバをアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。 また、起動しているソフトウェアはすべて終了してからインストールを行ってください。ウィルス駆除ソフト、常駐しているソフトウェアも終了させてからインストールを行ってください。
「EAM-UK300」キーを差し込んでもキーの LED が点灯しない。	「EAM-UK300」のインストールが正しく完了していないと、キーを差し込んでも正しく認識しないためLEDは点灯しません。または、キーの認識が無効になっている可能性があります。「スタート」メニューから「コントロールパネル」-「システム」を選択し、デバイスマネージャを表示します。デバイスマネージャから「！」や「×」、「不明なデバイス」を削除し、キーを抜き差ししてください。 **参照 ⇒ P.18「2.「EAM-UK300」キーを生成する」**
キーを差し込んでパソコンを起動しても自動ログオンできない。	自動ログオンの設定をONにしてください。 **参照 ⇒ P.36「自動ログオン設定を ON にする」** または、使用したことのないポートにキーを差し込むと反応しません。必ず、使用したことのあるポートにキーを差し込んでください。ログオン後、使用したことのないポートにキーを差し込むと、インストール画面が始まります。指示に従ってインストールを完了すると、そのポートでも使用することができます。これは、Windowsの仕様であり、キーの不具合ではありません。

状　況	対　応
WindowsXPのユーザ簡易切替ができなくなった。	Windows自動ログオン設定をONにしていると、ユーザ簡易切替は使用できません。ユーザ簡易切替を使う場合は、Windows自動ログオンをOFFにしてください。 **参照 ⇒P.41「自動ログオン設定をOFFにする」**
パソコンの電源を入れるとスクリーンセーバになってしまう。	スクリーンセーバロック設定をONにしている場合、キーを挿入しないとスクリーンセーバに切り替わります。キーを挿入しスクリーンセーバロックを解除してください。 **参照 ⇒P.34「スクリーンセーバロックをOFFにする」**
スクリーンセーバロック設定をONにしているのに、キーを抜き取るとログオフ画面になってしまう。	スクリーンセーバロック設定と自動ログオフ設定を同時にONにすると、自動ログオフ設定が優先されます。 **参照 ⇒P.53「機能相関図」**
キーを頻繁に抜き差しすると、USBポートが壊れてしまうのが心配だ。	通常の使用であれば問題ございませんが、心配な方は、USB延長ケーブルの利用をおすすめします。
「EAM-UK300」キーを紛失してしまった。	新規に「EAM-UK300」をご用意いただき、紛失したキーのバックアップファイルから復元するか、紛失したキーと全く同一の情報を入力してキーを生成してください。 **参照 ⇒P.47「キーの復元」** **参照 ⇒P.44「「EAM-UK300」キーの生成 / 再生成」**
セーフモードでアンインストールできない。	セーフモードでは、「EAM-UK300」のドライバが認識されないため、アンインストールはできません。アンインストールは通常モードで行ってください。

よくある質問

質　問	回　答
ユーザアカウント毎に異なるキーを使い分けることは可能ですか？	できます。複数のユーザアカウントで「EAM-UK300」キーを使用した場合、各アカウントで設定した機能は、各アカウントでのみ反映されます。
「EAM-UK300」キーを盗まれた場合、キー内部の情報が知られてしまう危険性はありますか？	キー生成時のパスワードを知らなければ、キー内部の情報が知られてしまうことはありません。ただし、内部のキー情報を書き換えることはできます。キー情報の書き換えを防ぐためにも、PIN保護の設定をおすすめします。 **参照 ⇒P.50「PIN保護を有効にする」**
会社で「EAM-UK300」を使用しているキーを、自宅のパソコンにも使用することはできますか？	自分が管理するPCであれば、2台以上のPCにインストールすることは可能です。ただし、それぞれのパソコンに「EAM-UK300」をインストールする必要があります。
スクリーンセーバロックを実行しておけば、長時間退席しても大丈夫ですか？	スクリーンセーバロックを長時間実行される場合は、パソコンのスタンバイモード、サスペンドモード、モニタ電源OFF、ハードディスク電源ＯＦＦの設定を長めにするか、「しない」にすることをおすすめします。これらの設定は、コントロールパネル内の「電源オプション」または「電源の管理」から設定することができます。
スクリーンセーバロック中にサスペンドモードに入った場合の対処方法を教えてください。	スクリーンセーバロック中にサスペンドモードに入った場合、キーを差し込んでもすぐにスクリーンセーバロックが解除されないことがあります。キーを差し込んだままシステムが回復するまでお待ちください。

質　問	回　答
「EAM-UK300」キーをパソコンに接続する際、USB ハブやUSB 延長ケーブルを経由してもかまいませんか？	市販のUSBハブやUSB延長ケーブルをお使いいただくことはできますが、Windowsでの動作が確認されているものをご利用ください。また、USBハブを経由した動作は保証しかねます。
スペアキーを用意したいのですが？	新規に「EAM-UK300」キーをご用意いただき、バックアップファイルから復元するか、マスターキーと全く同一の情報を入力してキーを生成してください。 参照 ⇒ P.47「キーの復元」
製品のシリアル番号がわかりません。	キー本体の裏面ラベルに記載されています。また、キーを差し込んだ状態で［設定メニュー］を表示すると、［バージョン情報］の上にキーの「ユーザ名」と「シリアルナンバー」が表示されますので、確認することができます。

おもな仕様

●FILSAFER KEY EAM-UK300

インターフェース	USB1.1 準拠
電力消費	100mA 以下（USB コネクタより供給）
サイズ	17（W）× 53（D）× 8（H）mm
重量	10g

索引

英　数

あ　行

か　行

さ　行

た　行

は　行

や　行

お問い合わせ表

お問い合わせいただく場合は、あらかじめ以下の項目をご確認の上、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

【使用製品について】

項目	内容
製　品　名：	FILSAFER KEY EAM-UK300
バージョン：	※バージョンの確認方法は、[設定メニュー] - [バージョン情報] で確認できます。
シリアルNo.：	※シリアルNo.の確認方法は、本体裏面ラベルに表示されています。

【使用パソコンについて】

項目	内容
パソコン製品名：	※自作機の場合は、マザーボードのメーカと型番もご確認ください。
OSバージョン：	
CPU：	
メモリ容量：	
ハードディスク容量：	
ハードディスク空き容量：	

【ご使用の常駐ソフトウェアについて】

ご使用の常駐ソフトウェアを全てご確認ください。ウィルスチェックソフトは必須です。

【接続している周辺機器について】

ご使用の周辺機器のメーカ、製品名、型番をご確認ください。

【お問い合わせ内容】

アフターサービスについて

・ユーザー登録について

本製品に関するアフターサービスをお受けいただくために、必ずユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。
ユーザー登録方法は、ホームページにて登録が可能です。

ホームページアドレス http://www.sapulife.com/filsafer_key/

・保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。
保証書と保証規定の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

・修理に関して

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体と保証書をお買い上げ販売店にお持ちください。
保証期間後も、修理によって使用可能なときは、お客様のご要望により有償で修理いたします。
なお、修理・検査の際に登録されているキー情報は消去されますので、あらかじめご了承ください。

・お問い合わせ

アフターサービスについてのご相談は、弊社お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル（全国共通）

お客様相談室 0120-201594

受付時間：午前9時～午後6時（土・日・祝日・年末年始を除く）

お客様相談室FAX 0120-060660

・最新情報について

FILSAFER KEYに関する最新の情報は、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス http://www.sapulife.com/filsafer_key/